

なりました。

この度、第18巻第2号の「産学連携学」が完成し、電子ブックとして発行の運びとなりました。これまでの紙媒体での学会誌とは印象が違いかもかもしれませんが、これまでと同様に皆様方のお役に立てることを願っています。

電子ブックへのアクセスにつきましては、事務局から、皆様方が当学会に登録されている電子メール宛てに、電子ブックのアクセスの方法、アクセスのためのIDやパスワードなどをお知らせすることにしていきます。7月中旬に届きますので、お待ちくださるようお願いいたします。なお、メールが届かない方やアクセスなどに関するご質問などは、当学会事務局までお問い合わせください。よろしく申し上げます。

(学術誌委員長 北村寿宏)

【学術誌委員会からのお願い】

「産学連携学」は、特集記事と投稿論文等から成り立っています。

特集記事につきましては、学術誌委員会で検討を行い、その時々により重要と思われるテーマを設定し、そのテーマに造詣の深い専門家の方に寄稿をお願いして、掲載されています。会員の皆様で、取り上げて欲しいテーマがありましたら、ぜひ、学術誌委員会にご提案ください。

投稿論文等は、論文、研究ノート、事例研究などの区分に分かれています。

皆様からの投稿を受け、論文、研究ノート、事例研究については、査読がなされその結果に基づき委員会で審議され、掲載されています。

最近、論文等の投稿が極端に少なくなってきました。

学会誌は、会員の皆様の研究成果などを発表する場として、また、有用な情報を受け取る貴重な場となっています。さらに、当学会の目的の一つである「産学連携学の確立」には、論考を定着させる投稿論文等は不可欠です。

先般、熊本市で第20回大会が開催され、コロナ禍にもかかわらず多くの方が参加され、多くの発表がありました。ぜひ、その発表内容を論文等にまとめていただき、また、大会で発表できなかった方も研究成果や活動の取り組み事例を論文等にまとめて頂き、投稿くださるようお願い申し上げます。

皆様からの投稿をお待ちしております。

(学術誌委員長 北村寿宏)